

付録 C 鉄筋コンクリート造等住宅の熱橋形状等に応じた線熱貫流率

鉄筋コンクリート造等における熱橋の線熱貫流率は、当該熱橋の断熱補強の有無、形状及び室の配置等に応じ、表 1 で定める値を用いることができる。加えて、当面の間、表 2 の鉄筋コンクリート造等住宅の熱橋形状等に応じた線熱貫流率の値も用いることができる。

表 1 鉄筋コンクリート造等の構造熱橋部の線熱貫流率

境界の組合せ	構造熱橋部で取り合う面の組み合わせ	構造熱橋部の特徴	線熱貫流率 ψ_l (W/m K)		
			断熱補強 仕様 1	断熱補強 仕様 2	断熱補強 なし
外気 3 室内 1 	内断熱面 と 内断熱面	構造熱橋部は生じない			
	外断熱面 と 外断熱面	壁式構造の外壁と床スラブの 取り合い部、外壁と界壁の接 合部、その他これと同等の熱 損失があると判断可能な形状 を含む(以下、本表において 「壁式等」という。)			
		壁式等以外	0.60	0.60	1.80
	内断熱面 と 外断熱面	壁式等	0.35	0.70	0.85
		壁式等以外	0.30	0.85	1.40
外気 2 室内 2 	内断熱面 と 内断熱面	壁式等	0.65	0.90	1.10
		壁式等以外	0.85	1.15	1.60
	外断熱面 と 外断熱面	壁式等	0.65	1.05	1.10
		壁式等以外	1.10	1.10	1.60
	内断熱面 と 外断熱面	壁式等	0.65	1.00	1.10
		壁式等以外	0.95	1.50	1.65
外気 1 室内 3 	内断熱面 と 内断熱面	壁式等	0.85	1.10	1.15
		壁式等以外	1.20	1.80	2.00
	外断熱面 と 外断熱面	構造熱橋部は生じない			
	内断熱面 と 外断熱面	壁式等			
		壁式等以外	0.55	0.85	0.90
			1.00	1.55	1.70

※ 構造熱橋部において断熱材の施工面から突出する柱・梁に断熱材の施工面と同等の断熱施工をしない場合には、断熱材の施工面(屋根、壁、床等)を無断熱として取り扱う。

※ 構造熱橋部の仕様が不明な場合または表に該当する仕様がなない場合には、表中で最も大きい線熱貫流率を用いてもよい。

表 1、2 において断熱補強仕様 1 とは表 3 に定める仕様、断熱補強仕様 2 とは表 4 に定める仕様の断熱補強を行っている場合をいう。

表 3 地域の区分等に応じた断熱補強仕様 1

断熱 工法	断熱補強の仕様	地域の区分			
		1、2	3、4	5～7	8
内断熱	断熱補強の範囲(mm)	900	600	450	—
	断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.6			—
外断熱	断熱補強の範囲(mm)	450	300	200	—
	断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.6			—

※上表において、対象となる熱橋部で内断熱工法及び外断熱工法が併用されている場合は、内断熱工法とみなす。

表 4 地域の区分等に応じた断熱補強仕様 2

熱橋部の形状	断熱補強の部位・仕様		地域の区分			
			1、2	3	4	5～8
熱橋部の梁、柱が室内側に突出している場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	500	200	150	125
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.4	0.1	0.1	0.1
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	100			
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.1			
熱橋部の梁、柱が室外側に突出している場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	200	75	50	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	150	75	50	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
熱橋部の梁、柱が室内側、室外側いずれにも突出していない場合	床面	断熱補強の範囲(mm)	200	100	75	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	
	壁面	断熱補強の範囲(mm)	200	75	75	
		断熱補強の熱抵抗の基準値(m ² K/W)	0.2	0.1	0.1	

表 3 及び表 4 において断熱補強の範囲とは、壁、床等が断熱層を貫通する部分からの断熱材の補強設置寸法とし、柱及び梁等(地中梁等の著しく寸法の大きい部位を除く。)は取り付く壁又は床の一部として取り扱うこととする。